

薬物応答性マーカーが臨床開発に及ぼすインパクト

従来

近未来

リスクベネフィットの観点から薬物を投与するメリットのある患者

メリットのない患者

効きが悪い、副作用が発現する

薬物応答性マーカー

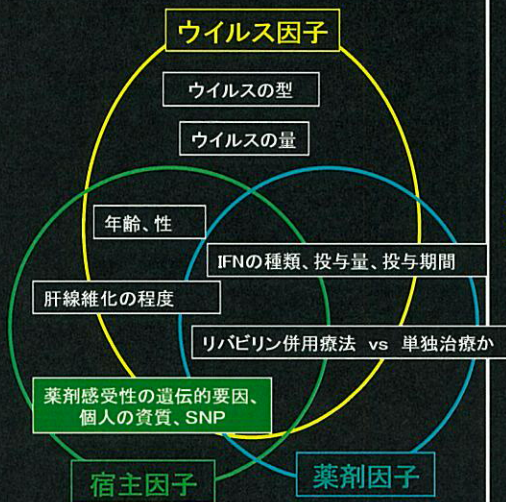
薬物を投与するメリットのある患者

有効性の検出、安全性の向上

薬物応答性を規定する遺伝子情報

エーザイ: 安田早苗原図引用、一部改変

C型慢性肝炎IFN治療効果に影響を及ぼす因子



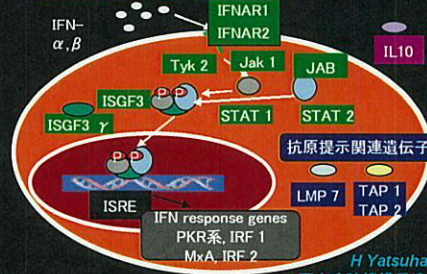
IFN治療効果に係る遺伝子多型(SNP)解析

16遺伝子
269 SNPs

対象
治療前HCV-RNA
量100KIU/ml以下の
CH(C)120例

	Locus	Size	AminoAcid
IFN-AR1	21q22.11	31575 b	557
IFN-AR2	21q22.11	32675 b	515
JAK1	1p32.3-31.3	51717 b	1142
TYK2	19p13.2	30554 b	1187
JAB	16p13.13	1770 b	211
STAT1	2q32.2	17930 b	750
STAT2	12q13	17395 b	851
ISGF3r	14q11.2	4422 b	393
IRF1	5q31.1	7652 b	325
IRF2	4q34.1-q35.1	86791 b	349
TAP1	6p21.3	8636 b	808
TAP2	6p21.3	16909 b	703
LMP7	6p21.3	3840 b	276
PKR	2p22-p21	50369 b	551
MxA	21p22.3	33025 b	661
IL-10	1q31-q32	4861 b	178

IFNのシグナル伝達経路



H Yatsuhashi,
国立病院機構長崎医療センター